

第 2 回 文字情報基盤ワーキンググループ
議事概要(案)

1. 日時・場所

2014年2月13日(木) 16:00~17:30
経済産業省本館 17階 第4共用会議室

2. 出席者

委員長

林 史典 聖徳大学/聖徳大学短期大学部 教授
人文学部長/人文学部日本文化学科長/人文学部日本文化学科長

委員

梅原 忍 財団法人地方自治情報センター 住民基本台帳ネットワークシステム全国センターシステム担当 上席マネージャ

大山 水帆 川口市情報政策課 課長

楠 正憲 文字情報基盤運用検討 SWG 主査
内閣官房 社会保障改革担当室 番号制度推進管理補佐官

篠原 俊博 総務省 自治行政局住民制度課 課長
(代理出席) 羽根 基博

高田 智和 文字情報基盤文字情報検討 SWG 主査
人間文化研究機構 国立国語研究所 理論・構造研究系 准教授

平本 健二 経済産業省 CIO 補佐官

宮城 安 法務省 民事局民事第一課 補佐官
(代理出席) 長谷川 泰之

吉田 悦教 総務省 総合通信基盤局電気通信事業部 高度通信網振興課 課長

オブザーバ

総務省 行政管理局行政情報システム企画課

事務局

宮里 孝則 経済産業省商務情報政策局情報プロジェクト室室長補佐

田代 秀一 独立行政法人情報処理推進機構 技術本部国際標準推進センター長

小林 龍生 独立行政法人情報処理推進機構 技術本部国際標準推進センター

沼田 秀穂 独立行政法人情報処理推進機構 技術本部国際標準推進センター

池田 佳代 独立行政法人情報処理推進機構 技術本部国際標準推進センター

3. 配布資料

資料 1 : 文字情報基盤の現状

資料 2 : 2013 年度の事業報告

資料 3 : 「文字情報基盤導入ガイド」(案), 「文字情報基盤導入テクニカルスタディ」(案) の概要

資料 4 : 文字情報基盤導入ガイド (案)

資料 5 : 文字情報基盤導入テクニカルスタディ(案)

資料 6 : 【参考】変体仮名のデザイン案

4. 議事概要

4.1 開会

委員交代の紹介（荻野委員が梅原委員へ交替）。

4.2 政府の取り組み状況について

資料 1 に基づき、文字情報基盤の経緯及びロードマップに従い、2015 年度のアクションプラン推進へ向け、年度内に文字情報基盤導入ガイドを発行したい旨を説明。

4.3 今年度事業報告について

資料 2 に基づき、2013 年度の文字情報基盤の事業について報告。

- 11 月にフォントと文字情報一覧表のバージョンアップ版を公開。
- 文字情報基盤で整備した文字図形全てを、国際標準で規定された登録先であるユニコードコンソーシアムの運用するデータベース（IVD¹）へ登録することを目指し、その第一歩として新規作成した文字図形を中心とした 10,720 文字図形の登録申請を行った（2013 年 12 月）。この登録に係るパブコメ（2014 年）終了後、符号化が残された文字は約 1,900 文字となる。
- 変体仮名の標準化へ向けた検討を開始した。
- 文字の情報（文字のメタデータや文字と文字との関係性等）を収録し、オープンデータとして公開する文字情報データベースの仕様を検討。年度内に構築のための入札手続きに入る予定。
- 文字情報基盤で用いている最新技術（IVS²）への製品の対応が進み、PC 向けの主要な市販ワープロソフトは全て対応が完了した。（2011 年の震災で活

¹ IVD : Ideographic Variation Database

² IVS : Ideographic Variation Selector / Sequence。JIS での用語は「字形選択子」

用された被災者支援システムについても 2014 年 10 月からは IVS へ対応する予定であるとの指摘が委員から出された。)

4.4 文字情報基盤導入ガイドについて

資料 3、4、5 に基づき、「文字情報基盤導入ガイド」案及び「文字情報基盤導入テクニカルスタディ」案の概要について説明。

- 「文字情報基盤導入ガイド」は文字の国際符号化、及び情報システムの新技術への対応等が過渡的状态にある中で、文字情報基盤を活用するための技術的基本指針を提示したものである。「テクニカルスタディ」は、具体的な導入方法を示したものであり、国際標準で規定された私用面（外字領域）の活用や、符号化の進展に伴う移行の手順に触れている。
- さらにわかりやすい導入事例、FAQ、仕様書例などをまとめ、普及を図る予定である。

4.5 質疑応答・意見交換

- 変体仮名については、実装の前に、現場の意見や標準化動向等を十分見極める必要がある。→ 現在は検討を開始した段階であり、パブリックコメント収集なども含め、2014 年度中にさらに検討を進める。
- 導入ガイド、テクニカルスタディについて、修正案等があればいただき、委員長一任で取りまとめることとしたい。

5. その他

次回開催については、来年度末を目途とし、改めて連絡する。